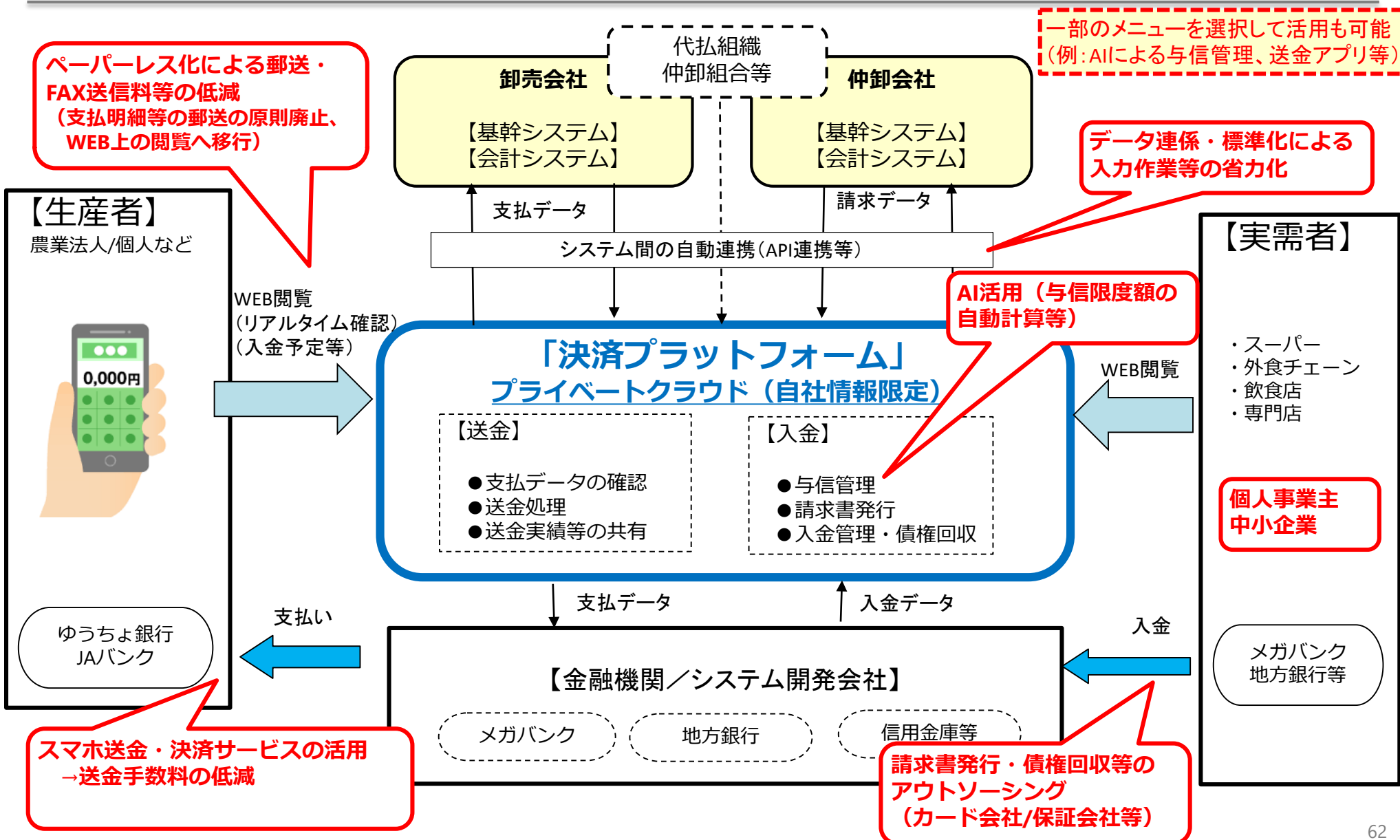


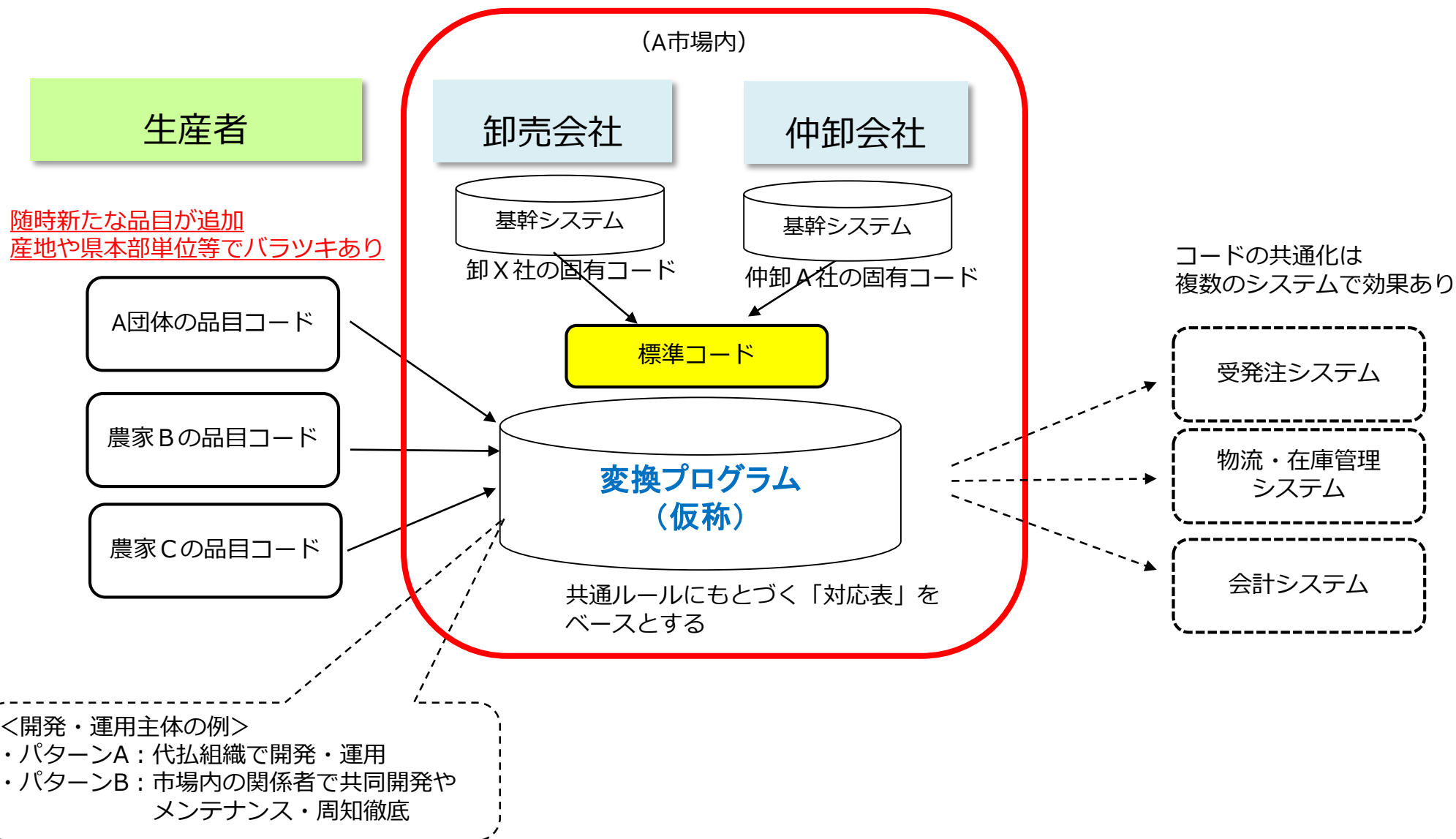
「決済プラットフォーム」の基本機能（パターンC・将来形）



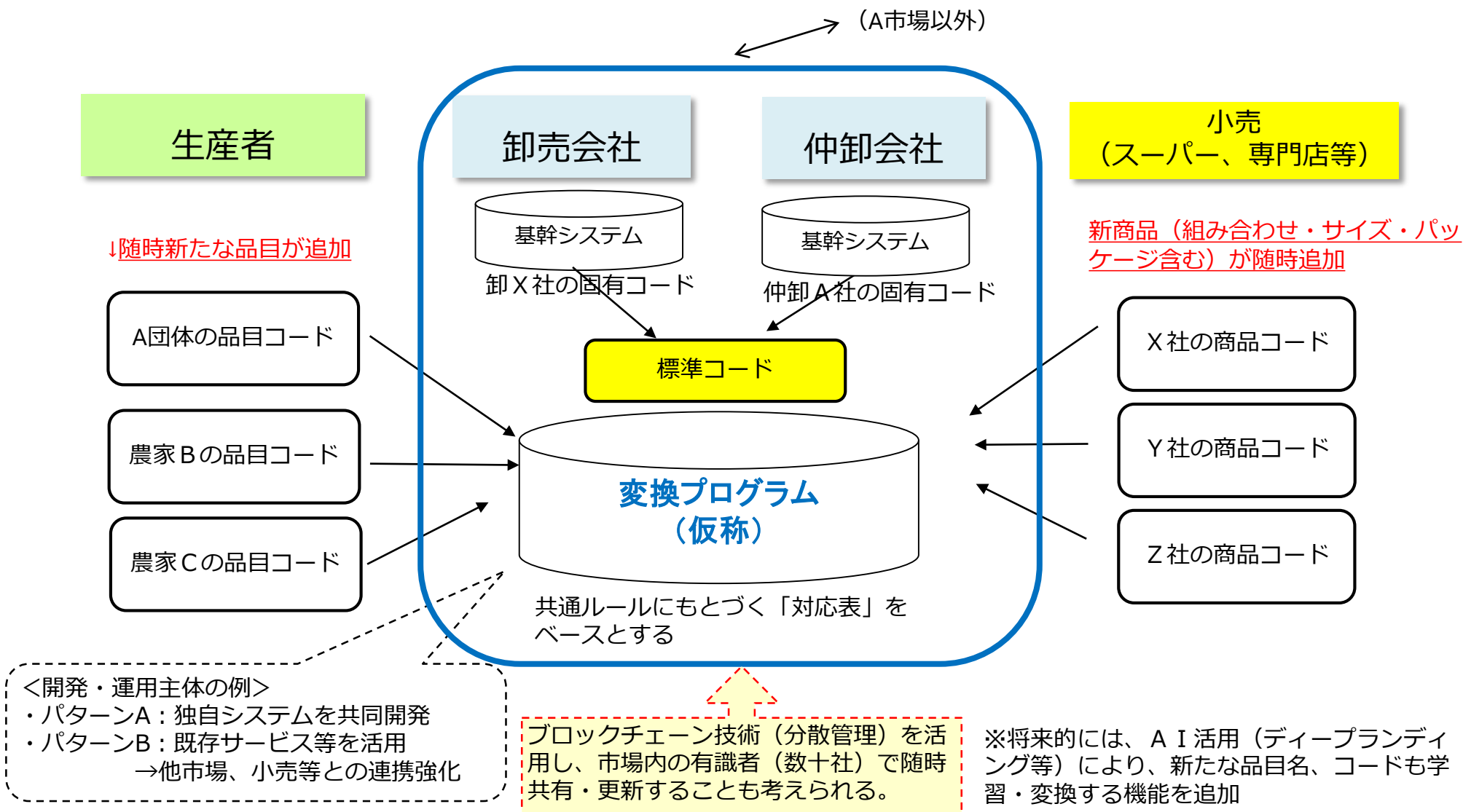
(6) モデル仮説の具体例

- ①データの連携(変換プログラム)
- ②請求書の自動配信
- ③AI-OCR(自動読み取り等)
- ④クラウド化(バックアップサーバ強化等)
- ⑤スマートフォン決済・送金サービス
- ⑥AI活用(与信枠の自動計算、アラート配信)
- ⑦第三者活用(保証会社等)
- ⑧ブロックチェーン技術の活用

具体例①：データ連係（変換プログラム） ～第一段階（品目コード等）



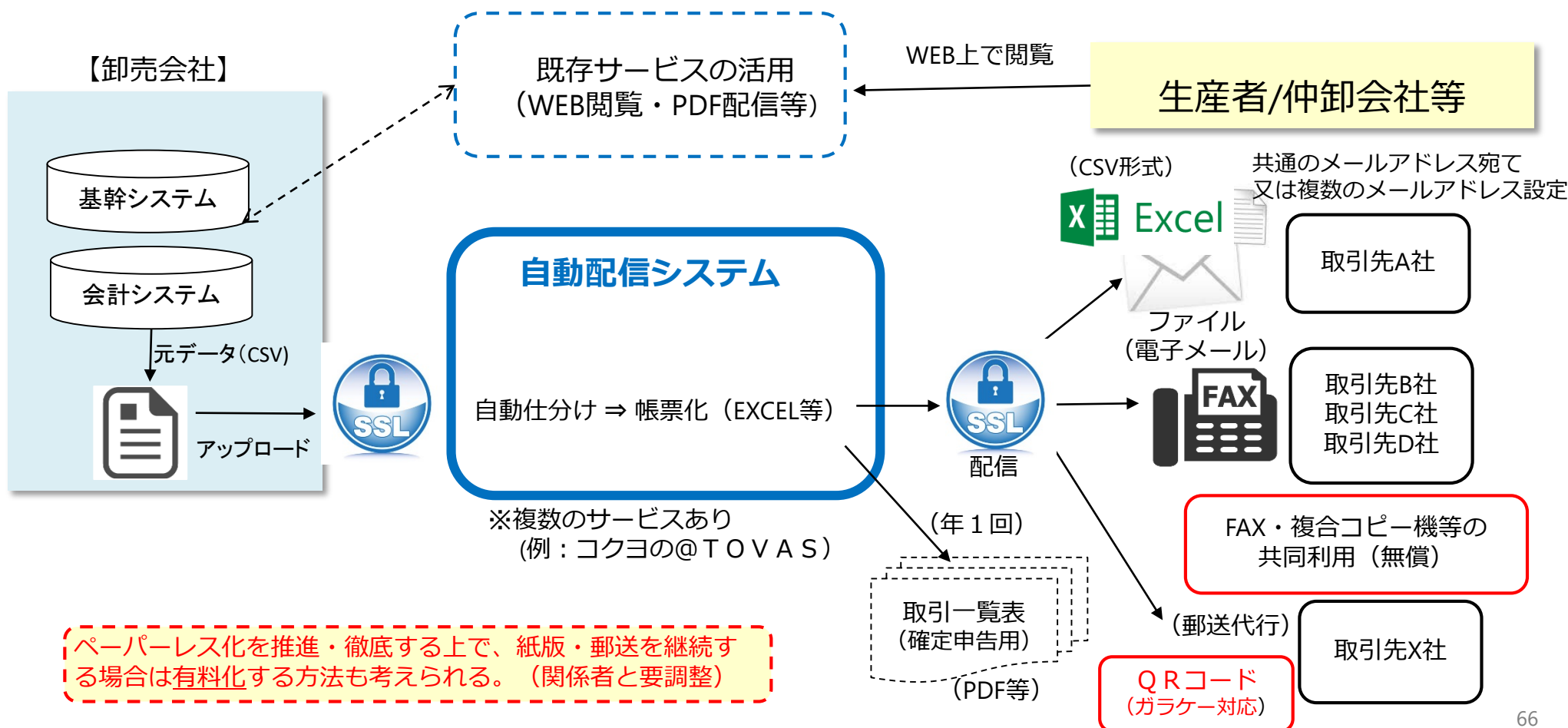
具体例①：データ連係（変換プログラム）～発展系（生産者及び小売）



具体例②：請求書等の自動配信（又はWEB上での閲覧）

- ・既存のシステムの機能（WEB閲覧機能）を活用してもらう方法もあり。
- ・ペーパーレス化をすすめるにあたっては、生産者（特にシニア層）へのサポート体制や移行措置等も重要な課題である。

（例：複合コピー機の「無償」シェアリングサービス、QRコード活用・ガラケー対応等）



具体例③：A I－O C R（手書き伝票等の自動読み取り）

A I－O C R・自動読み込み機能を活用し、手作業業務（手入力、手書き伝票のシステム入力、入力後のチェック業務等）の効率化が期待できる。

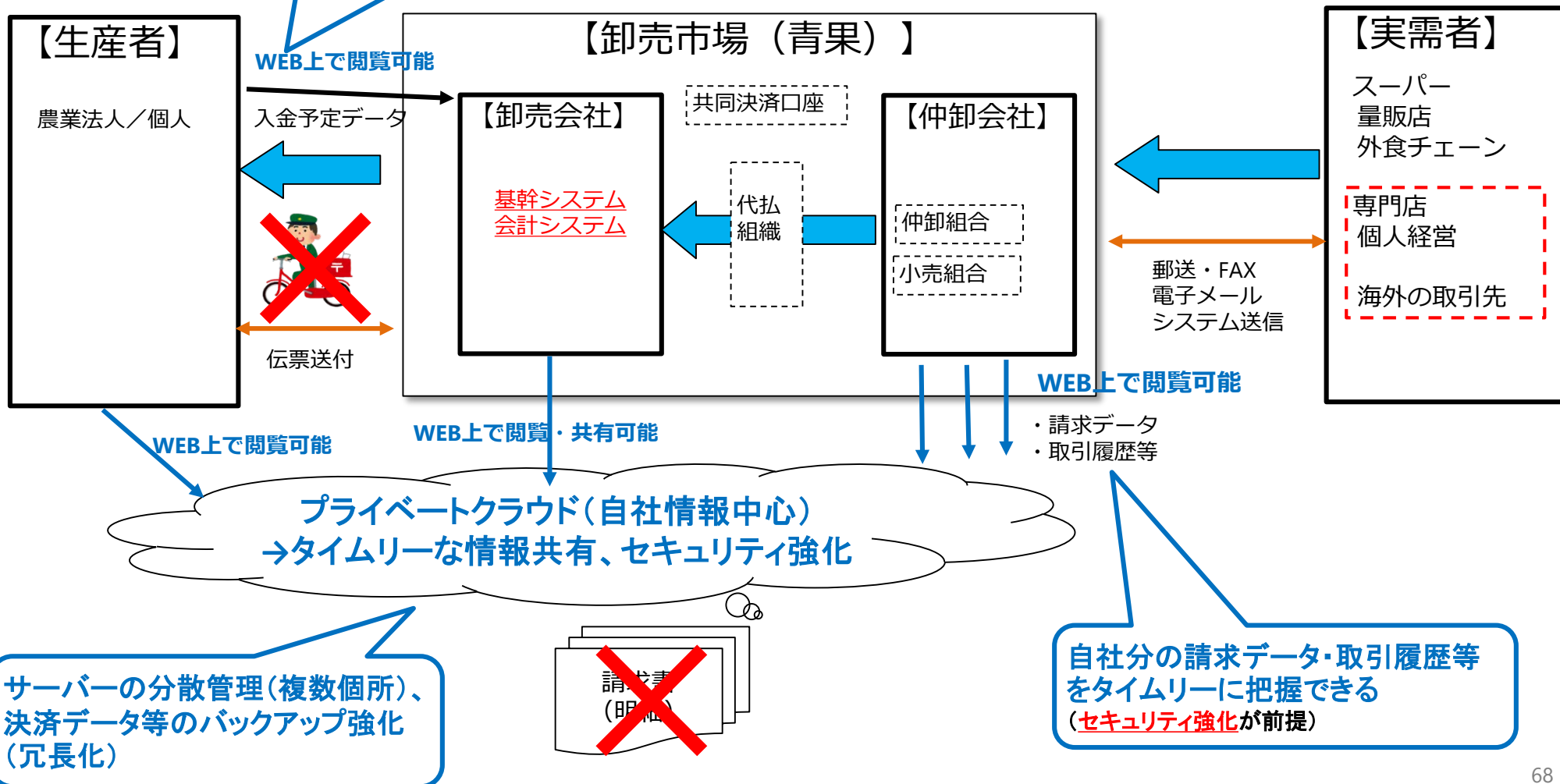
- ・対象例：生産者から受領する手書きの伝票や、取引先（個人事業主等）から受領する注文書等
- ・対応システム例：みずほA O Rソリューション、キャノンなど

生産者（又は販売先）



具体例④ クラウド化

自身の入金予定金額(及び実績)を
事前に把握可能。
(PC及びスマホ対応等)



具体例⑤：スマートフォン決済・送金サービスの活用

農家はスマホ等で入金予定、実績額などをリアルタイムで把握可能

【詳細データ（例）】

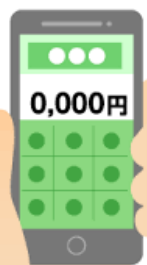
- ・委託手数料（定率）
- ・各種手数料の差し引き分
- ・運賃負担
- ・振込手数料（銀行間）負担など

【必要データ（例）】

- ・支払日（カレンダー機能）
- ・金額データ
- ・支払先マスタ（口座名、口座番号等）

【生産者】

農業法人/個人など



ゆうちょ銀行
JAバンクなど

卸売会社

【会計システム等】

振込データ

仲卸会社

【会計システム等】

入金データ

自動連携（API連携等）

送金処理

WEB閲覧
履歴確認

スマホアプリ
（外部システム）

WEB閲覧
履歴確認

送金処理

共同決済口座
（A銀行等）

入金

データ上の処理（手入力不要）

銀行間振込でも送金手数料無料
夜間・土日でも対応可能

銀行間振込でも送金手数料無料
現金持ち込みは不要で、スマホで簡単に送金

【小売】

専門店（個人経営）
個人事業主

（小口・多頻度の取引中心）

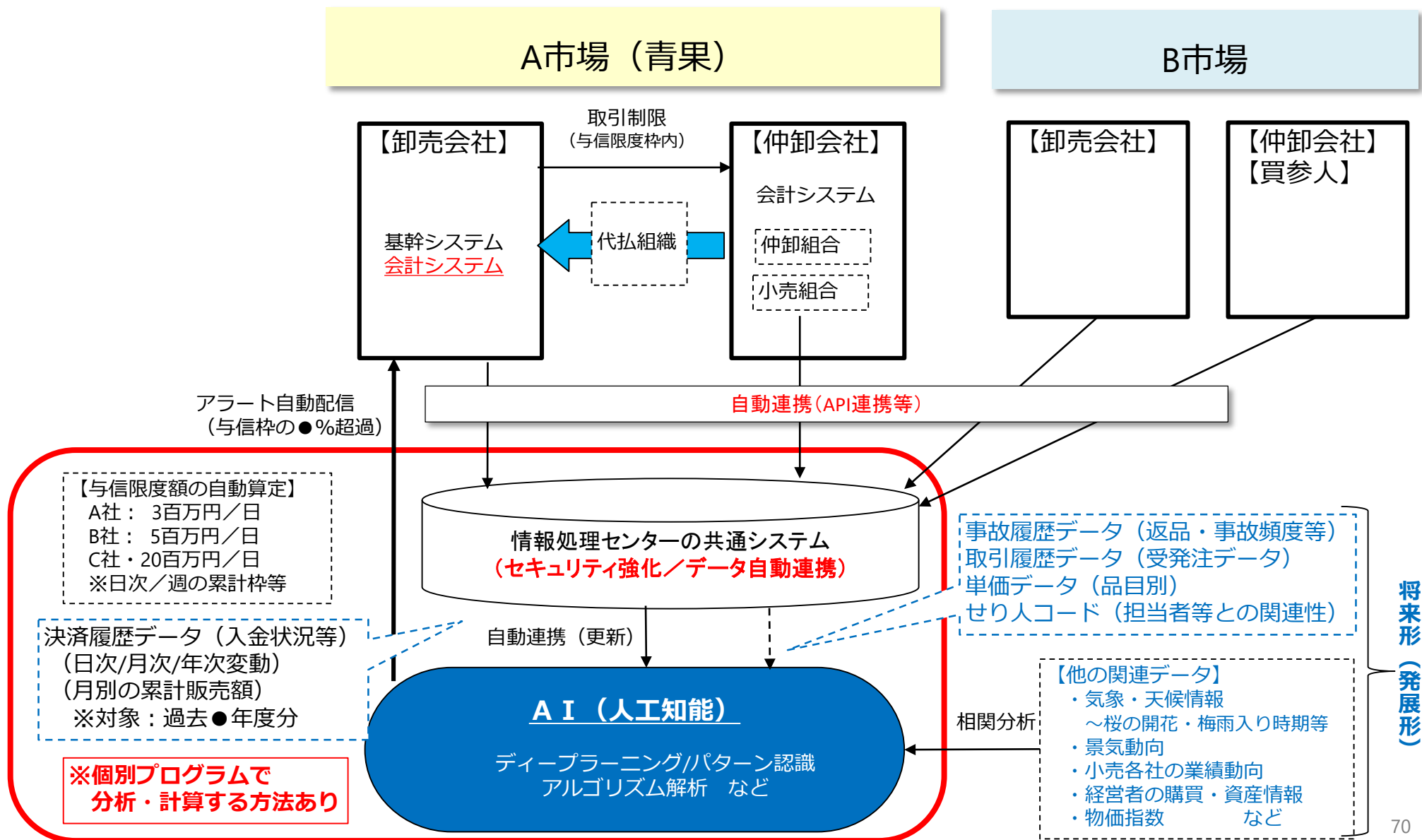
「おくる」「もらう」「はらう」

の3つの操作で簡単！

スマホ送金アプリの活用

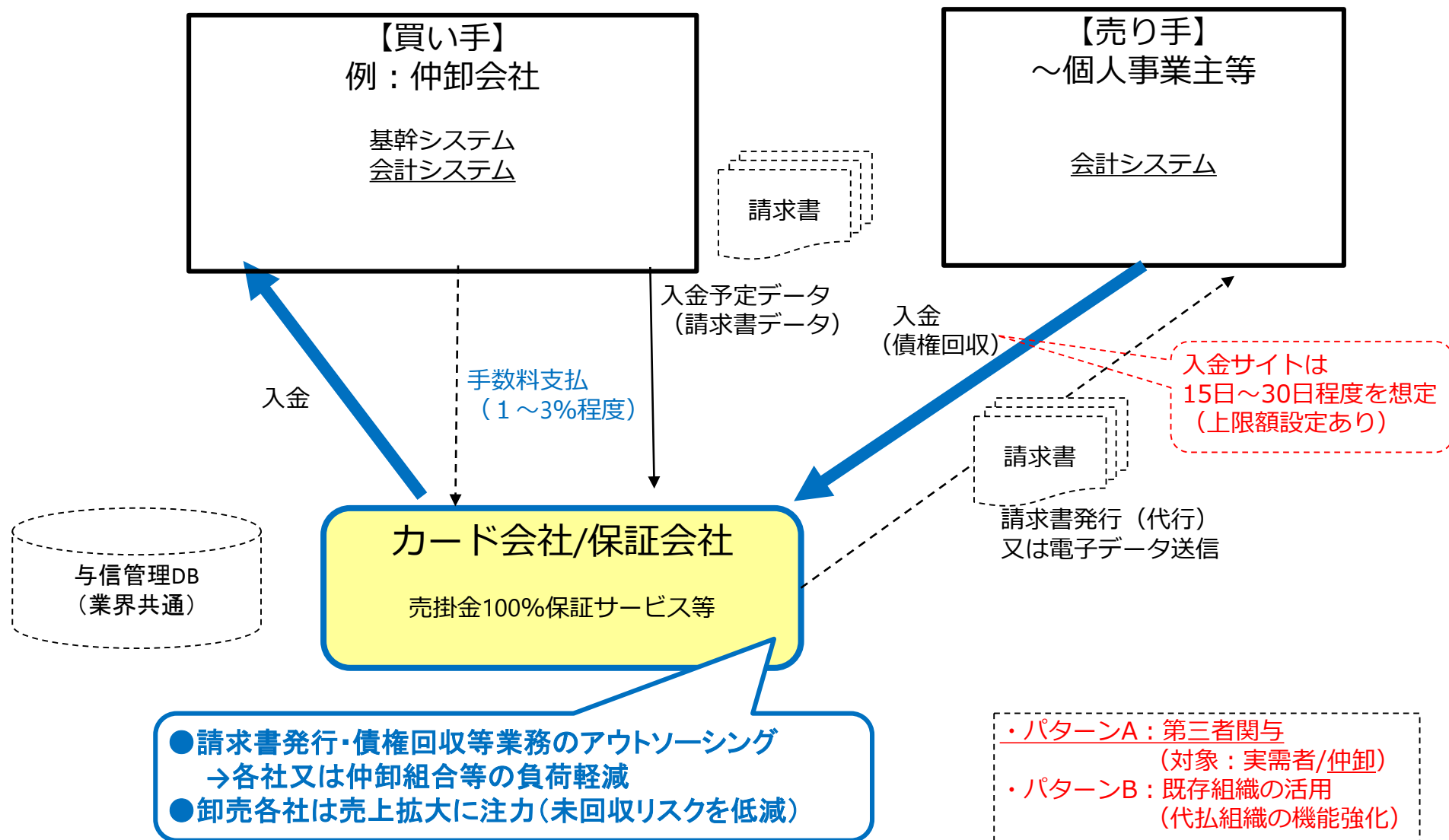


具体例⑥：AI活用（与信限度額の自動計算、データの利活用）



具体例⑦：与信管理・第三者サービスの活用

ケース例：仲卸会社が主体（中小企業・小口先等からの債権回収中心・代払組織が無いケース）



具体例⑧：ブロックチェーン技術の活用例 ～将来構想

